

## 【 バックナンバー 】

2020年5月号「雇用によらない働き方」(北健一・菊池和彦・森崎めぐみ) / 韓国の漫画「草」日本語版出版(関千枝子) / ジェンダー4署名「所得税法第56条の廃止を」(土井淳子) / **新連載**「仲間と共に生きている—保健師として、労働運動、地域で」(駒田富枝) / [わが愛]「痴漢と言う性暴力」(牧野雅子)

6月号「コロナ禍の日本—国民のいのちと暮らしは？」(山本民子・岸本啓介・塚田豊子・藤原麻子・小畑雅子・伊藤希・卯城ひさる) / コロナ危機 世界の女性のたたかい 国際民婦連(WIDF) / ジェンダー4署名「民法・戸籍法の差別的規定の廃止・法改正を」 / [わが愛]「在留ベトナム人の『駆け込み寺』命と人権を守る」(吉永慈豊)

7・8月号「コロナ禍の日本(II) 国民のいのちと暮らしは？」(澤田幸子・森田しのぶ・藤原るか・高杉末子・寺内順子・芦田麗子) / ジェンダー4署名『慰安婦』問題の解決を—『慰安婦』制度は、今日につながる最大の性暴力」(吉川春子) / [わが愛]「新型コロナウイルス感染症で失われたもの」(前田佳子)

9月号「今、ケアに満ちた政治を求めるとき—コロナ禍が露わにした特権的な無責任」(岡野八代) / 「アメリカ黒人の命を奪う『2つのパンデミック』—新型コロナと人種差別」(矢部武) / 「守谷武子さん(元婦団連会長)を偲ぶ」 / [わが愛]「動物視点からみた道徳教材」(渡辺典子)

10月号「コロナ禍の教育を考える」(前川喜平・畑屋早苗・折出幸・中野佳代) / 「コロナ禍で公演が中止！」(中川美保・楯岡真弓) / **新連載**「女性医師の見た新型コロナウイルス感染症」(前田佳子)・**新連載**「地球温暖化」(歌川学) / [わが愛]「大学って何だろう」(あかたちかこ)

11月号「コロナ禍でも進められる『戦争する国』への道—「敵基地攻撃能力保有」の議論と危険な現状」(半田滋)・「木更津が陸上自衛隊オスプレイの一大拠点に」(紙谷敏弘)・「~米軍ヘリ部品落下事故を受けて」(宮城智子) / 中学校教科書採択(鈴木敏夫・土志田栄子) / [わが愛]「マンガ『100日で崩壊する政権』」(ぼうごなつこ)

12月号「女性たちのたたかいはつづく」(内山佳子・柿田彩・加藤健次) / 戦後75年—戦争被害を語り継ぐ(浅井春夫・西村幸吉・杉村幸子) / [わが愛]「すべての人に星空を」(高橋真理子)

2021年1月号「2021年のいのち・暮らしを守る政治に転換を」(長尾詩子) / 「私たちは行動する—若者たちの決意」(疋田万理・入福日向子・久保田亮) / 「ステイホームの日々—世界シネマ旅」(具島順子) / [わが愛]「ジェンダー平等に向けて—日本学術会議の提言から」(三成美保)

2・3月号「2021年国際女性デー」 / 国際民婦連(WIDF) 創立75周年 コロナ禍のなかで各国のたたかい / 労働契約法20条裁判最高裁判決(今野久子) / 持続可能な食と農をめざして(藤原麻子) / 被爆体験集(山野井恵子) / [わが愛]「女性と安全保障—チャウドリー大使の先見の明」(鷲見八重子)

4月号「東日本大震災・福島原発事故から10年」(阿部秋子・高野和子・青龍美和子・斎藤富春) / [わが愛]「宮本百合子没後70周年と『わきまえない女たち』」(北田幸恵)

5月号「性差別を許さない! 森発言からジェンダー平等を考える」(中島万紀子・久保田みき子・伍淑子・深山麻美子・宮本里英子) / [わが愛]「憲法のこころ」(斎藤とも子)

6月号「コロナ禍1年—支援の取り組み」(岡田はるか・坂本理美・寺園通江) / 「菅政権が進める『デジタル化』は暮らしに何をもちたらずか」(久保貴裕) / 「JAL 不当解雇11年目」 / 『知られざる拓北農兵隊の記録』 / [わが愛]「大学のオンライン授業事情と JAL 不当解雇事件」(野中郁江)

7・8月号「日米軍事同盟はどこへ向かおうとしているのか」(千坂純) / 「遺骨の混じった土砂を辺野古の埋め立てに使うな!」(川崎善美)・空襲被害者に救済を(河合節子)・『炎と飢えと』50集発行(橋本洋子)・「上海から引き揚げ」(鈴木泉子) / [わが愛]「コロナ禍の貧困パンデミックと公助の頼りなさ」(小林美穂子)